

授業科目 民俗学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健康・スポ・社会・看護	
池田哲夫		開講時期	後期	必修・選択	選択	
		単位数	2	時間数	30	
【概要・一般目標：G10】 民俗学の基本的な事項を理解できるように講義する。講義内容は、民俗学の特質、民俗学の方法などについての基本的な講義の後新潟県内の年中行事や祭などにみる具体的な民俗事例を取り上げ、その民俗学的意義を考える。						
【学習目標・行動目標：SB0】 日々の暮らしのなかの民俗事例をとおして、その伝承の意義を、民俗学的に理解することを目標とする。						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	柳田国男と民俗学					すべて講義形式で行う
2	民俗学の方法					
3	自然と民俗					
4	祈りと祭					
5	忌みの日					
6	田遊び					
7	車田植					
8	越後の瞽女(ごぜ)					
9	正月					
10	盆行事					
11	裸押し合い祭					
12	ムラの境の藁人形					
13	朱鷺と民俗					
14	海の交流					
15	民俗芸能					
※講義のテーマ、順番は変更することもあります。						
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし				
参考書		佐渡能楽史序説 近代の漁撈技術と民俗	小林貢、池田哲夫 池田哲夫	高志書院 吉川弘文館	2008・5,000円・(本体価格) 2004・7,500円・(本体価格)	
その他の資料						
【評価方法】 出席50%、レポート50%			【履修上の留意点】			